

# 大濱信泉先生『早稲田大学第7代総長』生誕128年と 東京八重山郷友連合会20周年記念事業準備委員会

## 1. 準備委員会の役割

- ① おおはまのぶもと 大濱信泉先生『早稲田大学総長』生誕128年の足跡『人の価値は、生まれた場所によって決まるものではない。いかに努力し、自分を磨くかによって決まるものである』これは、1976年にこの世を去った大濱信泉先生が後世に残した言葉である。これに学びながら、創立20周年を記念し、『八重山はひとつ』の下、連合会の歩みを振り返り、今後の活動の発展及び各郷友会の活性化と飛躍をねらう事業である。
- ② 準備委員会での企画は、平成30年3月代議員会に報告し承認を得る。
- ③ 代議員会において承認後は、準備委員会は実行委員会に移行。委員を増員し各事業の具体的な審議にあたる。

## 2. 記念事業について

- ① おおはまのぶもと 大濱信泉先生『第7代早稲田大学総長』生誕128年を記念して、場所は“早稲田大学隈講堂”とする。
- ② 記念事業の日程について、2020年東京オリンピックにあたり東京沖縄県人会がBEGINを招聘し記念事業を開催しようとの計画がある。そのため、当会の20周年記念は2019年9月29日に開催しようと考えています。なお、2019年4月は通常の“八重山まつり”は実施し、当日、記念事業の入場券を販売開始とする。
- ③ 内容について、第1部は“大濱信泉先生の軌跡（仮）”第2部八重山民謡と踊り、第3部はBEGINと考えています。

## 3. 懇親パーティーは行わず、当日、反省会として実行委員会の慰労会を設ける

## 4. 記念誌の発行について、出版は次年度とする

## 5. 記念事業予算は①記念事業協賛金（寄付金）、②芸能公演チケット代、③広告費とする

## 6. 20周年推進体制と役割体制（案）について

- ・各事業を推進するため、役割分担を決め早期に取り組む。

# 大濱信泉氏のあゆみ

おおはまのぶもと

大濱信泉先生は、沖縄を代表する偉人で、早稲田大学の総長として活躍しました。

1891年、石垣島生まれ。1910年に沖縄師範学校に入学。在学中に学校のマドンナといわれる女学生から編み物をもらいそのお礼手紙が学校に知られ、男女交際を禁止している校則を理由に、退学処分を受ける。

東京へ出る決心を固め、家族（特に姉）の協力を助けられ、東京の郁文館中学に入学。その後猛烈に勉学に励み、早大高等予科を経て早稲田大学法学部を首席で卒業。

三井物産に入社するも後に弁護士を開業。相前後して1922年に講師として早大に戻り、助教授としてイギリス・フランス・ドイツに留学。1927年に帰国後、法学部教授となり手形法・海商法・イギリス法を講義した。そして、戦後の1954年に島田孝一の後を受けて総長に就任。

大学総長の実務を取り仕切る中で沖縄復帰運動にも関わり、1962年には茅誠司・大河内一男ら有志で「沖縄問題を話し合う会」を結成、1964年にはこれを沖縄問題解決促進協議会に発展させ代表委員となった。佐藤栄作首相の沖縄訪問の際には特別顧問となり、日米の政財界人や有識者・ジャーナリストを動員して「核抜き本土並み」の本土返還を実現させる背景作りを担った。

1965年4月に勲一等瑞宝章を、没後勲一等旭日桐花大綬章を受章。

「人の価値は、生まれた場所によって決まるものではない。いかに努力し、自分を磨くかによってきまるものである。」

これは、1976年にこの世を去った大濱信泉が後生に残した言葉である。

# 大濱信泉年表

西暦	年齢	出来事
1891.10.05	0	沖縄県石垣島登野城の大浜信烈の長男として生まれる
1898.04	6	大川尋常小学校入学
1910	18	沖縄県立師範学校入学
1914.04	22	早稲田大学高等予科入学
1918.07	26	同大学法学部を首席で卒業
1919.12	27	弁護士試験に合格
1921.04	29	弁護士開業、原嘉道事務所で修行
1922.04	31	早稲田大学法学部長寺尾元彦氏の媒酌により山内熊司・テル夫妻の長女・英子と結婚
1925.05	33	英、仏、独留学
1927.11	36	早稲田大学教授就任
1945.10	53	同大学同法学部長就任、同人文科学研究所理事就任
1946.07	54	早稲田大学理事就任
1949.01	57	日本学術会議会員3期選任
1954.09	62	第7代早稲田大学総長・同理事長・同空手部名誉部長
1955.01	63	35年ぶりに石垣島に帰郷、大歓迎をうける
1955.04	63	日本私立大学連盟会長
1958.11	67	全国大学教授連合会会長就任
1962.05	70	早稲田大学名誉教授
1962.11	71	藍綬褒章授章
1965.08	73	佐藤首相の沖縄初訪問に特別顧問として同行
1965.10.12	73	韓国訪問 漢陽大学で名誉法学博士号をうける
1965.11	74	ユニバーシアード東京大会組織委員会会長に就任
1971.07	79	「私の沖縄戦後史」を出版
1972.02.01	80	沖縄国際海洋博覧会協会会長就任
1972.04	80	沖縄復帰等の功績により勲一等旭日大綬章受賞
1975.07.19	83	沖縄国際海洋博覧会、沖縄本部で開会式典、同協会会長として挨拶
1976.01.19	84	沖縄国際海洋博覧会183日間の日程を無事終了、閉会式で挨拶
1976.02.13	84	治療の甲斐なく悪性リンパ腫・肺炎のため死去
1976.02.13	84	死去により勲一等旭日桐花大綬章を追贈される